



友愛の森(二中だより)

12月



学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造
令和7年12月1日発行

1年の終わり…学んだことを「まとめる」とは？

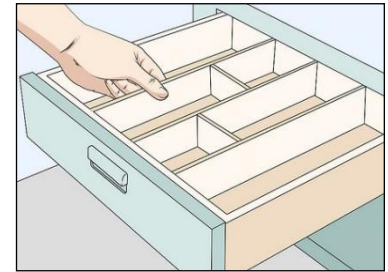
校長 山元 勝久

12月は2学期の最後の月であり、2025年の最後の月です。先生方からも「まとめの時期」であることはよく言われると思います。

例えば岩石の学習をしたとします。岩石には大きく分けて火山岩、堆積岩、変成岩の3種類があって…それぞれの特徴は…と学習し、特徴ごとに整理して「まとめ」ます。丁度仕切りのある引き出しに整頓してしまうイメージです。

同じように繊維の学習をしたとします。綿、麻、羊毛、絹(蚕)…これらは編んでいくことで紐状(ひもじょう)して利用することができ…。さらに同じように木の学習をしたとします。木には針葉樹と広葉樹があり…堅さや加工のしやすさに違いがあります。

それぞれの学習で得た知識を種類ごとにまとめ、「岩石」「繊維」「木」の引き出しに入れ、きちんと頭の中にしまっておく。「まとめる」という言葉から連想するのは、こういったイメージだと思います。



皆さんにはこのイメージのもう**一歩先の「まとめる」**に進んでほしいと思います。

それは、「硬い石」と「丈夫な紐」と「硬い木の棒」を「まとめる」ことで、「石斧がつくれる」というような「まとめる」です。一つひとつの別々の知識として学習するのではなく、これまでに学習したことをいつでも引っ張り出して、知識をまとめて(組み合わせ)、新たなものを作り出していく…知識の引き出しは開きっ放しにしておき、いつでも1つにまとめたり組み合わせたりして使いこなしていきける。それが、「まとめる」の先にある

「知識をより有効に活用していくこと」なのだと思います。社会の中での我々の仕事や生活の営みは、「国語」とか「理科」といった教科別に構成されているわけではない、ということ

は保護者の皆さんならすぐにご理解いただけることだと思います。教科という枠を取り払い、様々な学習活動で身に付けた力を柔軟な発想で組み合わせ(教科横断的な学習と言います)、様々な視点から課題を解決していく力を育む学び(特に富士山学習)を大切にしています。社会で生きていく上で生徒たちにしっかり身に付けてほしいと思います。

ネット・スマホの正しい利用を心掛けましょう

富士宮市PTA連絡協議会主催「ネット・スマホの安全安心な利用に関する標語コンクール」において、2名が入選しました。ネットやスマホ、生活に大変便利なものですが、正しく使用しないと被害者になったり、加害者にもなったりします。気をつけて使いましょう。

【入選】高山 凜 さん 「もう学校？」スマホにとられた 休みの日
塩川 智己さん やりすぎ注意 どんどん下がる 視力と成績

中体連駅伝大会に出場しました!(11月9日)

富士宮市中体連駅伝大会が行われました。今年は、天気にも恵まれ、絶好の駅伝日和でした。選手の皆さんは、これまで、時間が限られている中、できることを考え練習に取り組んできました。今年、大変嬉しかったのは、男子、女子とも2チームずつエントリーできたことです。「駅伝を盛り上げていきたい」「自分の限界に挑戦してみたい」という気持ちで、たくさんの方が選手として手を挙げてくれました。また、多くの方々の協力もあり、ユニフォームも新調させていただくことができました。

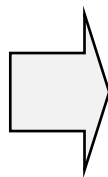
結果は、男子がAチーム6位、Bチーム14位でした。女子はAチームが5位、Bチームが8位でした。大会終了後、ある選手から「(悔しいから)来年こそは!」といった言葉が聞かれ、もう来年の大会に向けた気持ちを持っているのかと思うと、とても嬉しく思いました。また、個人記録では、3年生種田翔太さんが「区間記録5位」でした。おめでとうございます。



生徒会引継式を行いました。(11月1日)



今まで、ありがとうございました!



これから、よろしくお願いします!

令和7年度も後半を迎え、生徒会も3年生から2年生に引き継ぐ時期となりました。スローガン「sketch」を軸に、「二中文化の創造」に力を発揮していただいた3年生の皆さんありがとうございました。新生徒会は、3年生の意志を受け継ぎ、二中をさらに高みに上げてくれることでしょう。期待しています。

新生徒会長の言葉(抜粋)

令和7年度後期・令和8年度前期生徒会長 塩川智己さん

先輩方が築き上げてくださった素晴らしい伝統と功績に、心から敬意を表します。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

私がこれからの活動で目指すのは、「生徒全員が主役になれる学校づくり」です。

例えば、皆さんのアイデアを生かした企画や、目安箱に寄せられた意見を真剣に検討するなど、全校生徒の声が直接届くオープンな生徒会を目指します。しかし、私を含めた生徒会本部役員や委員長・副委員長だけの力では限界があります。この学校をより良くしていくためには、全校生徒の皆さんの協力が必要不可欠です。これまでの活動を引き継ぎながら、皆さんとともに新しい風を吹かせ、より良い富士宮第二中学校をつくり上げていきたいと思えます。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。